|  |  |
| --- | --- |
| 様式第１－３号　今回初めて申請される方 | 管理番号 |

※農業者は記入不要

**化学肥料低減計画書**

　＜作付概要＞

　　①に最も作付面積が多い作物名（例：水稲、野菜 等）とその面積（ａ（アール））を記入してください。

　　②には次に作付面積が多い作物名とその面積を記入してください。

　　それ以外の作物は③にまとめて、作物名を記入せずに面積のみ記入してください。

　　　（下段の取組メニューは、作付面積の合計の半分以上の面積を占める作物で実施するものとします。）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 作物名 | 作付面積（a) |  | 〒 |
| 　① |  |  | 住所 |
|  |
| 　② |  |  |
|  | 氏名 |
| 　③ その他 |  |  | （法人・組織名） |
|  | 電話番号（日中連絡が取れる番号） |
| 合計 |  |  |

|  |
| --- |
| ＜取組メニューの記入方法＞１ 「前年度までの取組」には、今まで実施してきた取組メニューに「○」を付してください。２ 「令和４年度又は令和５年度の取組」には、実施する取組メニューの２つ以上に「〇」を付してください。　　　 そのうち１つ以上は、新しい取組か、従来の取組の強化・拡大（「◎」で記入）を含むようにしてください。３ 特別栽培等★に該当する方は、その欄に「〇」を付けてあれば、他の取組がなくても構いません。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 取組メニュー | 前年度までの取組 | 令和４年度又は令和５年度の取組 |
| ★「有機JAS認証」または「福井県特別栽培農産物認証※」の取得　　　　(※　池田町の認証制度を含む)  |  |  |
| ア　土壌診断による施肥設計 |  |  |
| イ　生育診断による施肥設計 |  |  |
| ウ　地域の低投入型の施肥設計の導入 |  |  |
| エ　堆肥の利用 |  |  |
| オ　汚泥肥料の利用（下水汚泥等） |  |  |
| カ　食品残渣など国内資源の利用（エとオ以外） |  |  |
| キ　有機質肥料（指定混合肥料等を含む）の利用 |  |  |
| ク　緑肥作物の利用 |  |  |
| ケ　肥料施用量の少ない品種の利用 |  |  |
| コ　低成分肥料(単肥配合を含む）の利用 |  |  |
| サ　可変施肥機の利用（ドローンの活用等も含む） |  |  |
| シ　局所施肥（側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等）の利用 |  |  |
| ス　育苗箱（ポット苗）施肥の利用 |  |  |
| セ　化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し（ア～スに係るものを除く。） |  |  |
| ソ　地域特認技術の利用（ 　　　 ） |  |  |
| 私は、添付したレシートまたは請求書等記載の肥料（肥料費）について以下のとおり、確約します。令和４年秋肥又は令和５年春肥として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。※チェック欄にチェックした上で署名してください。氏名（自署） |
| （注）　当年の肥料費は、令和４年６月から令和５年５月末までの期間に発注したことを証明する書類（注文票等）と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類（領収書等）または支払い義務が生じていることを示す書類（請求書等）を、別添２に添付してください。なお、肥料名、数量、購入額が記載されているものに限ります。 |

*12345678*